

2013類

PLUMRACING FIRST SEASON REVIEW

愛媛	福島	北海道	京都	岐阜	愛知
久万高原ラリー	MSCC ラリー	ARK ラリー洞爺	丹後半島ラリー	ハイランドマスターズ	新城ラリー
5th	5th	retire	10th	4th	3th

ラリー競技を知る1年間。

2013 年ラリー活動へのスポンサー参加を通して、ラリー競技やイベント運営を自分の足で歩いて、 目で見て勉強をさせていただきました。そしてラリーの面白さや、毎回応援してくださる方々とのふれ合いを通じ、 今後も引き続きラリー競技に関わっていくのであれば、我々としては、単なるキャラクターの広報活動ではなく、 地域振興とビジネスの両立をより明確に掲げその思いを正しく伝えていくために、スポンサーとしての参加ではなく 我々自身が活動方向を決め、「長野、また諏訪圏を中心としたチームを作る」必要性を強く感じました。

FOR 2014 SEASON 2014 オール信用話方。



1. チームの大半は長野県のスタッフを起用。

チームの大半は長野県のスタッフを起用し、郷土愛をもとに一丸となって活動します。

スポンサーをはじめ、ドライバーやメカニックなど出来る限り信州にゆかりのある方々に協力をお願いし、郷土愛の結束を元に、信州・諏訪を盛り上げられるようラリー競技に全力を尽くします。

2.イベントで諏訪へ還元したい。

「諏訪で見える活動」「諏訪に来てもらえる活動」を目指し、積極的にラリーカーの展示やイベントに参加致します。 競技車両をはじめ、スタッフやチームも全て諏訪圏に居るためイベントへの参加も容易になり、より多くの方に楽 しんでいただけるようになります。また、全国のラリー会場で諏訪のイベント告知を行う事で、多くのラリー ファンの方々にもっと諏訪を身近に感じてもらい、来ていただけるきっかけ作りになる活動を行ってまいります。

3. 製造業のチームだから、車のパーツを造る。

ラリー競技において製造可能なパーツは、諏訪に金型の設計・製造工場を有する PMOA で自作します。 工業製品や金型の CAD 設計経験を生かし、自動車部品の精密金型製作を可能にするマシニングセンターを駆使して ワンオフで製作、テストを行いラリー競技にフィードバックしていきます。

4. 自分たちの車だから、とことんまでバラして。

車は競技が終了した後にパーツ劣化の調査のためバラバラに分解し、どのパーツがもろいのか、どうすれば強化できるのかを本格的に検証します。そして、強化したパーツは実際にラリーカーに搭載し、レースでその性能をテストします。このトライアンドエラーを繰り返し、諏訪から新たなパーツを作り出すことに全力を尽くします。



TOYOTA86で全日本JN-4 クラスに出場。

日本最高峰のラリー競技大会 2014 年度 全日本ラリー選手権大会 JN4 クラス RPN 車両に参戦予定です。 車両はメインスポンサーの株式会社ピーエムオフィスエーの出資により TOYOTA 86 を用意する事が決まっています。

今年新設、ラリーを広める RPN車両

RPN 車両は 2014 年に新設された改造範囲の少ないエントリークラスです。

「競技参戦を身近に、参加者を増やしたい」という大会側の狙いで新設され、ラリー関係の雑誌などでも注目 を受ける可能性が非常に高いクラスです。

また、この JN4 クラスにマッチしつつ、最も知名度の高い車両である TOYOTA 86 を使用することで話題性・ビジュアルともに、しっかりとした PR 効果を期待できます。初年度の参戦はターマック(舗装路)に限定し、出場は PR 効果の高い大会には積極的に参加する予定で、5 \sim 6 戦を予定しております。

ラリーに行くと諏訪を知れる。



全日本ラリーには諏訪物産展がついてくる。

来年は諏訪の良さを更に広めるため、全国を周るこの物販会場をもっと効果的に利用したいと考えております。 弊社グッズだけではなく、諏訪の温泉施設や食品・名産などを取り扱う企業様にスポンサーとなっていただき、 ラリー観戦に訪れるファンの方々に諏訪市の魅力を知っていただくアンテナショップを作る事が出来ればと 考えております。

最後に、レーシングチームとして。

当初は優勝を目指す事は難しいのかもしれません。

しかしながら、必ず優勝を目指し、さらに上の新たな目標を目指せるようなチーム作りを 2014 年にスタート。 諏訪の地から「走る事」と「造る事」を両立させる魅力的なチームを生み出していければと願っております。 今の我々は地域への貢献事業や PR 活動、ホビー事業、金型製造に関する技術は有しておりますが、自動車競技に 関してはほとんど素人です。試験的に参加した 2013 年の中では、歯がゆい部分もありましたが、地域を自らの足で 歩き回り、結果に一喜一憂することでラリーの魅力をしっかりと感じる事が出来ました。

ぜひ皆様のお力をお借りして、共に楽しみ、共に悩みながら、魅力的なチームで魅力的な活動を継続していく事を 目指していきます。